

## ネパール研修で印象に残った2枚の写真 Part 1

【宇都宮市立雀宮南小学校 安藤 頼子】



### ① 「今どきの女の子」

ホームステイ先の娘さんたち。SNSをやっているせいか、写真に対するこだわりが強い！自分がかわいく見える角度を知っている…(笑)。おしゃれ大好き！流行の歌が好き！…日本の子供たちと変わらない。

### ② 「パワーがすごい！」

交流授業を行った後、みんなでソーラン節を披露しました。「振付を教えて〜！」と、子供たちがみんな集まってきました。踊りが大好き！というパワーがすごい！



【小山市立若木小学校 鶴見 千歳】



### ① 支え合うパパとママ

ホームステイでお世話になった、ラメシュパパとゴマママ。パパは少しだけ英語が話せましたが、ママはほとんど通じませんでした。『指差し会話帳』を使って一生懸命コミュニケーションをとりました。脚が悪いママをさりげなく助けるパパの優しさがとても印象的です。

### ② 「ソーランソーラン」は仲良くなれる魔法のダンス

ソーラン節をすごく気に入ってくれた、6年生のアビシャちゃん。何度も何度も「どっこいしょ〜どっこいしょ〜」と練習しました。「また来てね！」「日本にも来てね！」そう言うとお別れしました。昨年の運動会でソーラン節を一生懸命練習していたよかったと思った瞬間でした。





## ネパール研修で印象に残った2枚の写真 Part 2

### 【高萩市立高萩小学校 宮本 幸奈】



#### ①「SMILE」

一緒にうちわを作った Next Generation School のみんな。ものすごく生き生きとしていました。最後に私たちがソーラン節を踊った後、子どもたちも一緒に踊ってくれました。大きな声で、「どっこいしょー！どっこいしょー！」「ソーラン！ソーラン！」とかけ声をいう姿は、力強くたくさんの「SMILE」がはじけていました。

#### ②「ありがとう！」

ホームステイ先の村からの景色。9歳の女の子が村を案内してくれました。私は、英語で彼女はネパール語で会話をし、手をつないでいろいろな所へ行きました。本当にきれいな景色が一面に広がっていて、感動しました。いろいろな場所に連れて行ってきて「ありがとう！」



### 【取手市立寺原小学校 山本 貴之】



#### ①「毎日の井戸端会議」

ホームステイした村で毎日見られた光景。チャ（紅茶）を飲みながら近所の人と談笑していません。私もおじさんたちの会合に混ぜてもらいました。村人たちの濃密な人間関係から、人とのつながり方を考えさせられました。

#### ②「ネパールで活躍する日本人との出会い」

JICA ネパール事務所、青年海外協力隊、NGO 等、現地で活躍する日本の方々とも交流することができました。現地の人に親しまれ、信頼されて活動していました。一人一人の仕事への思いや魅力あふれる人柄から、たくさんの刺激を受けました。



2019 05 08



## ネパール研修で印象に残った2枚の写真 Part 3

【宇都宮市立宮の原中学校 森戸 千浩】



### ①「フェアトレード手工芸品工場で働く人」

フェアトレードの手工芸品工場で働く人の姿。もともとフェアトレードには興味があったが、初めて途上国側の視点から見る事ができた。伝統の手工芸品に誇りを持って作っている。細部も手作業で心を込めて作っている様子を見て、消費者として、純粋に商品に魅力を感じた。

### ②「ネパールの教室」

教室で勉強する子供の姿を見て、日本の自分のクラスの子供たちを思い浮かべていた。環境は違っても、学びたい気持ちは同じ。ちょっと遊びたいという心も変わらない。そんな子供たちを支えることのできる教師という職業のすばらしさを改めて感じた。



【聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 西浦 公子】



### ①「ナマステ」

“ナマステ”と手を合わせ、こちらの目を見ながらにっこりと微笑む子どもたち。ナマステという言葉の豊かさを感じた。それは、「はじめまして」であり、「ようこそ」であり、「楽しみにしていたよ」であり、「来てくれて有難う」でもある。はじめて出会った人間に対しての無条件の信頼と肯定。あたたかな出会いの瞬間に、心が揺さぶられた。

### ②「布」

土けむりで茶色っぽい空気、生きることに精一杯の人々の力強い目。やや緊張しながら街を歩く中、輝く色鮮やかな布地に心が弾んだ。「この世の中にはこんなに綺麗な色がたくさんあるんだよ。あなたに似合う色がここにはきっとあるよ、見つけてごらん。」そんな声が聞こえるようだった。



## ネパール研修で印象に残った2枚の写真 Part 4

【茨城県立太田第一高等学校 屋代 恵子】



### ①「思いをツルにのせて」

「ネパールの子どもたちに会うまで交流授業はうまくいくのか不安でした。ネクスト・ジェネレーション小学校では生徒が演奏で私たちを歓迎し、「ナマステ～」と笑顔で手を合わせてくれました。その瞬間不安が晴れ、交流授業も楽しく行うことができました。写真は、日本の中・高生が折ったメッセージ付きのツルを渡したときの1枚。私の生徒にもこの喜びを伝えたいです。

### ②「雲より上に住む人たち」

ホームステイしたパトレケット村はカトマンズよりも標高が高く、雲に手が届きそうな場所にありました。青い空、広がる大地、定型文のような美しい自然に心打たれました。坂道が非常に多く、家の敷地内にも崖のような斜面に石を積んだだけの動線があります。そこをビーチサンダルでひょいひょい移動する彼らは運動神経が抜群に優れているに違いない、と私は確信しています。

